



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



心一つに なわとび集会 2月6日(木)

昼休み、なわとび集会を行いました。これは、体力と運動技能の向上を目的として、すくすくタイムや体育の時間に縄跳

び運動を行ってきた各学年の成果を、集会の中で発表するものです。

生活委員会の進行で、2分間で何回大縄を跳ぶことができるかに挑戦しました。記録に挑戦することも素晴らしいですが、「あと少し!」「がんばれ!」など、お互いに声かけをしながら、心一つにして取り組めたことが何よりすばらしかったです。子どもたちの集中力と団結力に拍手を送りたいと思います。

各学年の結果は次のとおりです。

1年	2年	3年	4年	5年	6年
35回	64回	68回	142回	91回	168回



配信中

なわとび集会の様子をYouTubeで配信しています。
右のQRコードを読み取って、ご覧ください。



心の中のオニを追い出そう!! ～豆まき集会(1・2年)～

2月6日(木)、節分にちなんで豆まき集会を行いました。最初に一人ずつ、自分の中の退治したいオニを発表し、自分で描いたオニの絵に新聞紙を丸めて作った「まめ」をぶつけて追い払いました。投げた後は、みんなすっきりした顔でした。

その後、突然、教室にオニが登場。びっくりする児童もいましたが、全員でオニを退治しました。健康な一年でありますように祈っています。



一足早く中学生気分 ～八峰中入学説明会(6年)～

1月31日(金)、6年生が八峰中学校の入学説明会に参加しました。体験授業の後、全体での説明会や部活動見学を行い、一足早く中学生の生活を体験しました。

最初は、初めての環境に緊張していた児童もいましたが、徐々に雰囲気慣れ、中学校生活への期待を大きくしていました。



1年間の集大成 ～校内授業研究会(2年・算数)



2月5日(水)、校内授業研究会がありました。これは、今年度、初任者として赴任した2年学級担任、藤田美空先生の授業提供による研究会で、1年間の初任者研修のまとめとなるものです。

子どもたちは本時の問題を確認した後、数量関係をテープ図に表わして問題解決に取り組みました。これまで学習してきたことを思い起こしながら解決を試み、理解を深めることができました。子どもたちも先生も共にがんばりました。



ようこそ、先輩!!

2月3日(月)より「高校生助手派遣プログラム活動」で、能代松陽高校3年、須藤柚芭(すとう ゆずは)さんが、本校で教育活動のお手伝いを行っています。これは、高校3年生が自分の出身小学校で高校生助手として活動することによって、ボランティア精神や勤労観、社会性等を養うことを目指す県の事業です。

図書館司書に興味があるという須藤さん。14日(金)までの期間、全学年の授業や図書室のお手伝いをします。



表彰者の紹介

令和6年度 八峰町スポーツ文化栄誉賞
教育委員会賞 3年 岩城 陽太さん
(第65回秋田県児童生徒美術展 話題作)

2月14日(金)、八峰町文化ホールで表彰されます。
おめでとうございます!

2月4日(火)、朝学習の時間を使って、「百マス計算大会(1年はたし算、2、6年はかけ算)」を行いました。子どもたちは気持ちを集めた。一斉に取り掛かっていました。これまでの学習の成果が発揮できたことでしょう。
※写真は5年生の様子です

今週の一枚

つれき

あなたは豆派? 恵方巻き派?

今年の節分は2月2日。我が家でも節分のメインイベント、「豆まき」をしました。

最近では、節分での豆や豆菓子(恵方巻き)の需要は減少傾向にあるそうです。その原因は、「恵方巻き」の浸透。

豆は邪気を払う「厄除け」、恵方巻きは縁起物を食べる「福招き」の意味があり、どちらも幸福や健康を願う行為ではありますが、恵方巻きは夕食にもなるので、豆をまき、その後それを食べる行為よりも優先度が上がってきているといわれています。

そういえば、ある情報番組で、スーパー等では今年度の恵方巻きは長さを3分の1にカットし、多くの種類を楽しんでもらいたいというねらいで販売されていることが紹介されていました。豆については一言も触れられていませんでした。

節分に豆をまき、それを食べることで、一年間健康に過ごせるといわれています。私が子どもの頃は、煎った大豆を使っていました。香ばしい風味とカリッとした食感で、いくらでも食べられそうでしたが、「自分の年齢+1個」というならわしが、そうさせてはくれませんでした。たくさん食べられる大人がうらやましかった記憶があります。

我が家では、食べ残った豆はしばらく仏壇に供えられましたが、小腹が空いたときに親の目を盗んで食べていました。今思うと罰当たりな行爲ですが、クソツと笑える懐かしい思い出でもあります。

日本には自然の恵みや先祖に感謝したり、家族の息災を願ったりする様々な年中行事やならわしがあります。それらは私たちの暮らしを豊かにしてきました。最近では、ハロウィンやクリスマスなどの欧米の行事に押されがちですが、日本らしい文化として大切にしていきたいものです。

